



令和6年5月20日

各 位

会 社 名 グランディハウス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐山 靖
(コード番号：8999 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 管理部長 梅木 龍司
(TEL. 028-650-7777)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、令和6年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (令和6年3月25日)	前期実績 (令和5年3月期)
基 準 日	令和6年3月31日	令和6年3月31日	令和5年3月31日
1株当たり配当金	32円00銭	32円00銭	32円00銭
配当金総額	930百万円	—	972百万円
効力発生日	令和6年6月28日	—	令和5年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、企業価値の増大と積極的な株主還元を両立することを経営上の重要課題の一つと位置付けております。株主還元につきましては連結配当性向35%を目安にしつつ、配当の安定性を考慮して各年度の配当金額を決定しております。当連結会計年度の期末配当につきましては、上記方針をふまえ、令和6年3月25日にお知らせしましたとおり、1株当たり32円とさせていただきますことを決定いたしました。

来期（令和7年3月期）以降の利益配当につきましては、新中期経営計画の下、安定的に事業資金を確保し、適切な株主資本と負債のバランスを図りつつ、金融情勢による資金調達面のリスクも考慮した上で配当金額を決定してまいります。具体的には、各年度の連結最終利益の範囲内で純資産配当率（DOE）3.5%程度を目安に配当を行うことを基本方針とし、1株当たり年間配当額は32円を下回らない水準を維持することで安定的な配当を実施するよう努めます。但し、損失が2期以上連続するなど、財務状況が著しく悪化する状況が生じた場合には、配当金額の見直しを検討することといたします。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	32円00銭	32円00銭
前期実績(令和5年3月期)	0円00銭	32円00銭	32円00銭

以上